

デ・トマソ **autocult**

Bizzarrini AMX/3 Spyder (イタリア, 1971)

デザイナーと小さなシリーズ

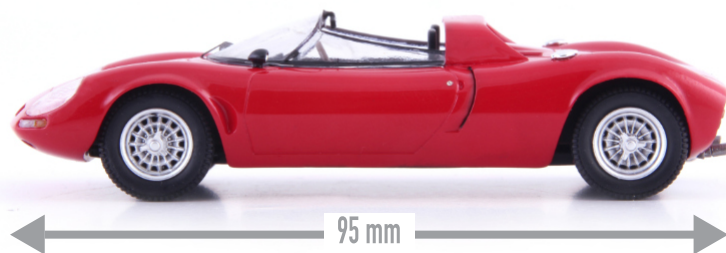
Scale 1/43

#05044

available

06/2023

Limited edition 333 Stk.



起源不明

1960年代末、AMC (アメリカン・モーターズ・コーポレーションの略称)は、自らに課題を課した、その課題とはライバルであるデ・トマソのパンテラを凌駕するミッドエンジン搭載のベストセラースポーツカーをデザインすることであった。

AMX/3という呼称は、初期のころから定着した。アメリカン・モーターズ・エクスペリメンタル サードタイプの略である。

これまでに生産された台数は不明である。工場には、すぐに運転可能な車が3台、ほぼ完成した車が2台あったことは間違いない。しかし、専門家の間では、AMX/3は5台ではなく、6台あったという意見が伝わっている。さらに、5台から10台程度の後期製造車があった可能性がある。実際の製造台数には大きな疑問符がつくかもしれないが、AMX/3の中にスパイダー・タイプがないことは、誰もが確信していた。

しかし、2002年のブリュッセルで、まさにそのようなデザインの車が現れた。

このクルマの明確な割り出しは、当然ながら不可能であった。専門家の中には、AMX/3のシャシーナンバー9をベースにしたスポーツカーではないかという人もいた。しかし、これは真実ではないかもしれない。エンジンはシボレーのもので、AMCのものではない。また、ホイールベースとトラック幅はAMX/3の寸法と一致しなかった。ビジュアル的にも、密接な関係は否定された。

このスパイダーが1966年のビザリーニ P538 レーシングカーから派生したものだというのが真実に近いかどうか、まだ検証できていない。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de